

第1 歳出

1 一般会計

(1) 総務費

事業名等	事業費	内容と成果
1 庁舎防犯カメラ設置事業  (契約管財課)	481,320 円	庁舎に設置してある既存の9台（地下駐車場4台、1階出入口4台、1棟2階出入口1台）の防犯カメラに加えて、各階カウンター付近の監視用として防犯カメラ10台を借り上げ、設置した。 ・防犯カメラ借上料 481,320 円 ※借上料（60か月） 2,406,600 円 ※借上期間 平成24年4月1日から平成29年3月31日まで
2 人事給与システムの更新  (職員課)	8,460,375 円	職員の採用から退職に至るまでの職員の各種情報、異動、昇給等の事務、給料・手当の支給、各種控除等の事務について、コンピュータシステムを更新し、業務の効率化を図った。 ・人事給与システム更新委託料 3,045,000 円 ・システム移行用データ作成委託料 1,260,000 円 ・据付調整等委託料 504,000 円 ・人事給与システム保守委託料 147,000 円 ・人事給与システムプログラム使用料 2,614,500 円 ・電算機借上料 589,260 円 ・備品購入費 300,615 円
3 市政情報電子化委託  (総務課)	7,350,000 円	市の永年保存文書等（約35万ページ）を電子化することにより、従来の紙ベースでの保存による劣化防止及び事務の効率化を図るとともに、複製化により、災害時等における滅失等のリスク分散を図った。（東京都緊急雇用創出事業を活用） ・市政情報電子化委託料 7,350,000 円
4 複写機借上  (総務課)	153,685 円	庁舎1階の情報スペースに設置している複写機について、領収書発行機能付きの複写機に更新し、市民等の利便性の向上を図った。 ※借上期間 平成24年4月1日から平成29年3月31日まで
5 福生市公共サイン整備方針策定委託  (企画調整課)	6,814,500 円	福生市において、共通の方針に基づき誰もが分かりやすく親しみやすい公共サインの整備を推進するため、統一的な基準や考え方を示した福生市公共サイン整備方針を策定した。（東京都緊急雇用創出事業を活用） 成果品 福生市公共サイン整備方針 A4判 150部 福生市公共サイン整備方針（概要版） A4判 150部
6 住民基本台帳法改正に伴うシステム改良  (情報システム課)	25,032,000 円	平成24年7月9日施行の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人住民も住民基本台帳法の適用となり、外国人住民についても住民票を作成することとなったため、住民情報システム全般の改良を行った。 ・住民情報システム改良委託料 25,032,000 円
7 組織力アップ地域コミュニティ活性化推進事業  (協働推進課)	851,080 円	町会・自治会の組織力向上及び地域で協力できる体制の構築を図るため、福生市町会長協議会と連携し、町会・自治会の組織の活性化及び加入促進のための事業を実施した。 ・講演会2回開催

事業名等	事業費	内容と成果
8 スポーツ祭東京 2013 第 68 回国民体育大会 福生市実行委員会補助 金  (国体推進室)	30,043,178 円	平成 25 年に開催されるスポーツ祭東京 2013 における第 68 回国民体育大会の競技会（ソフトボール競技（成年女子））の成功に向けて、関係機関・団体等の代表者により組織された「スポーツ祭東京 2013 第 68 回国民体育大会福生市実行委員会」に対し補助金を交付することにより、当該大会の開催準備を推進した。 スポーツ祭東京 2013 第 68 回国民体育大会リハーサル大会開催 1 大会名 第 64 回全日本総合女子ソフトボール選手権大会 (三鷹市・福生市・あきる野市・瑞穂町で共同開催) 2 開催日 平成 24 年 9 月 21 日（金）から 24 日（月）まで (23 日（日）が雨天のため予備日に順延) 3 会場 福生野球場（福生市） 4 試合結果 (1) 優勝 ルネサスエレクトロニクス高崎（群馬県） (2) 準優勝 トヨタ自動車（愛知県） (3) 第 3 位 豊田自動織機（愛知県）HONDA（栃木県） 5 福生市における大会関係者・観覧者数（4 日間延べ） (1) 大会関係者（選手・役員等） 1,443 人 (2) 一般観覧者 10,736 人
9 福生市長選挙の執行  (選挙管理委員会事務局)	15,088,525 円	平成 24 年 5 月 20 日任期満了に伴う福生市長選挙を執行した。 ・告示日 平成 24 年 5 月 6 日（日） ・投票日 平成 24 年 5 月 13 日（日） ・当日有権者数 46,347 人 ・投票者数及び投票率 18,327 人 39.54% ・総事業費 15,713,180 円 平成 23 年度分 624,655 円 平成 24 年度分 15,088,525 円
10 東京都知事選挙の執行  (選挙管理委員会事務局)	20,999,028 円	平成 24 年 10 月 25 日辞意表明に伴う東京都知事選挙を執行した。 ・告示日 平成 24 年 11 月 29 日（木） ・投票日 平成 24 年 12 月 16 日（日） ・当日有権者数 47,151 人 ・投票者数及び投票率 28,351 人 60.13% ・総事業費 20,999,028 円
11 衆議院議員選挙の執行  (選挙管理委員会事務局)	16,868,065 円	平成 24 年 11 月 16 日解散に伴う衆議院議員選挙を執行した。 ・公示日 平成 24 年 12 月 4 日（火） ・投票日 平成 24 年 12 月 16 日（日） ・当日有権者数 47,383 人 ・小選挙区選出 投票者数及び投票率 28,397 人 59.93% ・比例代表選出 投票者数及び投票率 28,396 人 59.93% ・総事業費 16,868,065 円

## (2) 民生費

事業名等	事業費	内容と成果
1 療養介護サービス推進事業  (障害福祉課)	22,223,686円	障害者自立支援法、児童福祉法等の改正により、重症心身障害児施設に入所している18歳以上の者を障害者自立支援給付費の療養介護サービスの受給者に移行し、療養介護サービスを給付することで、障害者支援の充実を図った。 ・支給決定者数 6人
2 障害者日中活動サービス推進事業  (障害福祉課)	23,387,300円	障害者日中活動系サービス提供事業者に対し、申請に基づき、障害者日中活動系サービス推進事業補助金を交付した。平成24年度は、新たに2事業者に対し補助金を交付した。 ・新規交付事業所 麦わら帽子 4,680,000円 就労センター拜島駅作業所 3,575,000円 ・継続交付事業所 はっぴい・れんげ園 11,040,000円 ジョブスペース遊 4,092,300円
3 障害者相談支援事業  (障害福祉課)	7,073,315円	障害者の日常及び社会生活を支援するため、新たに高次脳機能障害者及びその家族等の相談に対し、精神保健福祉士(月～金)、社会福祉士(月1回)及び作業療法士(月1回)を配置し、相談業務の充実を図った。 ・高次脳機能障害者相談支援 相談実人数 30人 相談延べ件数 329件 事業費 3,452,008円 ・障害者相談支援委託 相談延べ人数 2,768人 相談延べ件数 4,834件 事業委託料 3,621,307円
4 障害児通所支援事業  (障害福祉課)	5,296,168円	障害者自立支援法、児童福祉法等の改正により、児童デイサービスに代わる障害者通所支援事業として、児童発達支援及び放課後等デイサービスの支給決定及び給付を行った。 ・児童発達支援 支給延べ人数 31人 支給総額 3,976,170円 ・放課後等デイサービス 支給延べ人数 32人 支給総額 1,319,998円
5 国民年金業務システム改良事業  (保険年金課)	750,330円	国民年金被保険者の情報伝達の効率化を図るため、届書の情報を電子媒体化し日本年金機構へ送付できるようシステムを改良した。さらに、市町村情報照会システムの廃止に伴い、ねんきんネットを導入した。 ・システム改良委託料 630,000円 ・備品購入費 120,330円
6 福祉資金貸付システム更新及び借上  (子育て支援課)	1,417,500円	リース期間満了に伴い、母子・女性福祉資金貸付システムに機能追加等の改良を行い、事務処理の効率化と相談機能の充実を図った。 ・福祉資金貸付システム更新委託料 639,450円 ・福祉資金貸付システム保守委託料 189,000円 ・福祉資金貸付システム使用料 平成24年10月分から平成25年3月分まで 589,050円 (長期継続契約 平成24年10月から平成29年9月まで)

事業名等	事業費	内容と成果
7 保育システム更新及び借上  (子ども育成課)	7,706,370円	<p>既存の保育システムの機器の老朽化に伴い、平成22年11月に導入した住民情報システムに連携した保育システムへ更新を行い、事務処理の効率化を図った。</p> <p>新保育システムプログラム使用等（電算機借上含む。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新システム分 保育システム更新委託料 3,612,000円 保育システム使用料 平成24年10月分から平成25年3月分まで 648,270円 (長期継続契約 平成24年10月から平成29年9月まで)</li> <li>・旧システム分 保育システム更新委託料（データ抽出、消去等） 2,948,400円 児童福祉システム使用料 平成24年4月分から平成24年9月分まで 453,600円 電算機借上料 平成24年4月分から平成24年9月分まで 44,100円</li> </ul>
8 すみれ保育園建設費補助金  (子ども育成課)	182,744,000円	<p>子育て環境の改善を図るため、社会福祉法人不動福祉会が実施するすみれ保育園新園舎建設に要する費用の一部を補助した。</p> <p>補助費内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所緊急整備事業補助金（国負担） 139,254,000円</li> <li>・東京都子ども家庭支援区市町村包括補助金（都負担） 26,132,000円</li> <li>・保育所建設費補助金（市負担） 17,358,000円</li> </ul>
9 児童育成手当システム更新  (子育て支援課)	6,825,693円	<p>平成22年11月に導入した住民情報システムに連携した児童育成手当システムへ更新を行い、事務処理の効率化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム更新委託料 4,714,500円</li> <li>・システム移行用データ作成委託料 1,890,000円</li> <li>・プログラム使用料 平成25年1月分から3月分まで 221,193円 (長期継続契約 平成25年1月から平成29年12月まで)</li> </ul>
10 児童手当支給事業  (子育て支援課)	732,215,000円	<p>平成24年4月分から、子ども手当に代わり、中学校修了前の児童を養育する者に児童手当を支給した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童手当支給事業費 児童手当支給額 0～3歳未満 月額15,000円 3歳～小学校修了前 月額10,000円 (第3子以降は月額15,000円) 中学生 月額10,000円 ※ 平成24年6月分から所得制限を適用し、限度額超過者へは特例給付として月額5,000円を支給した。</li> <li>・支給対象数（平成25年3月末） 受給者数 4,320人（うち特例給付 292人） 児童数 6,801人（うち特例給付 357人） 平成24年度は平成24年4月分から平成25年1月分までを支給し、平成25年2月分及び3月分は平成25年度に支給</li> <li>・システム更新委託料 2,100,000円</li> </ul>
11 児童扶養手当システム更新  (子育て支援課)	6,070,785円	<p>平成22年11月に導入した住民情報システムに連携した児童扶養手当システムへ更新を行い、事務処理の効率化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム更新委託料 3,979,500円</li> <li>・システム移行用データ作成委託料 1,890,000円</li> <li>・プログラム使用料 平成25年1月分から3月分まで 201,285円 (長期継続契約：平成25年1月から平成29年12月まで)</li> </ul>

事業名等	事業費	内容と成果
12 学童クラブ育成料徴収 業務システム改良委託  (子ども育成課)	1,126,125 円	機器のリース期間満了に伴い、既存の学童クラブ育成料徴収システム機器を1台から3台に増設するとともに、延長育成料及び滞納者管理に対応したシステム改良を行い、学童クラブ事務処理の効率化を図った。 ・システム改良委託 1,126,125 円
13 外国籍保護者のための 日本語通訳者謝礼  (子育て支援課)	27,500 円	日本語能力が不十分な外国籍の相談者に対して、通訳者を配置し、母国語で相談ができるように、子育てに関する相談業務の充実を図った。 ・利用件数 5 件 ・利用時間 11 時間
14 子ども応援館内防災対 策強化事業  (子育て支援課)	342,984 円	子ども応援館の窓ガラスに飛散防止フィルムを貼り付け、子ども応援館内で市民が利用する場所の蛍光管を飛散防止タイプに交換することにより、首都直下型地震の大規模災害に備え、子ども応援館の利用者が安心して利用できるよう防災対策強化を図った。 ・飛散防止蛍光管 (158 本) 51,609 円 ・窓ガラス飛散防止対策委託料 291,375 円
15 子ども応援館外壁及び 屋上防水改良事業  (子育て支援課)	1,522,500 円	平成 23 年度の特種建築物等定期調査及び建築設備定期検査において、子ども応援館の壁面及び屋上の一部については是正の指摘を受けたため、平成 25 年度の工事に向けて、設計委託を実施した。 ・設計委託料 1,522,500 円
16 育成医療費助成事業  (子育て支援課)	276,497 円	平成 25 年度より東京都から権限移譲を受ける育成医療費助成事務の適正実施に向け、システム対応等の準備を行った。 18 歳未満の児童で、身体に障害を有する人又はこれを放置すると将来障害を残すと認められる人で、障害の程度を軽減し、又は障害を除去するために医療が必要な場合に、健康保険診療費の自己負担分を助成する。本人負担分として 1 割の自己負担額がある (所得等により負担上限額あり)。 ・印刷製本費 24,097 円 ・通信運搬費 400 円 ・システム改良委託料 252,000 円
17 認定こども園開設準備 経費補助金  (子ども育成課)	35,000,000 円	子育て環境の改善を図るため、市内幼稚園(福生多摩幼稚園)が新設する認定こども園(幼稚園型)の開設準備経費(施設整備費)の一部を補助した。 補助費内訳 ・都負担 17,500,000 円 ・市負担 17,500,000 円
18 すみれ保育園民営化移 管委託  (子ども育成課)	765,381 円	公設公営のすみれ保育園について、平成 25 年 4 月からの民営化を円滑に行うため、平成 25 年 1 月から 3 月までの 3 か月間を引継期間とし、引継保育を行った。 ・すみれ保育園民営化移管委託料 765,381 円
19 児童館内防災対策強化 事業  (子ども育成課)	353,427 円	児童館内の蛍光管を飛散防止タイプに交換し、大規模災害に備え、児童館の利用者が安心して利用できるよう防災対策強化を図った。 ・取替本数 田園児童館 429 本 武蔵野台児童館 182 本 熊川児童館 203 本

## (3) 衛生費

事業名等	事業費	内容と成果
1 福生病院組合建設費負担金 (健康課)	423,720,000円	2市1町(福生市、羽村市及び瑞穂町)で運営する公立福生病院の建て替えのための建設費を、負担割合に応じて負担金として支出し、安全で安心な医療サービスの充実を図った。
2 胃・肺がん検診委託 (健康課)	3,405,885円	35歳以上の市民を対象に実施する胃がん及び肺がんの検診回数を各1回ずつ増やし、受診機会の拡大を図った。 ・実施回数 胃がん 年7回(前年度 年6回) 肺がん 年5回(前年度 年4回)
3 がん検診推進事業(大腸がん検診) (健康課)	3,894,819円	40歳から60歳までの5歳刻みの年齢の者に対して、大腸がんに関する手帳及び検診費用が無料となる検診無料クーポン券を送付し、大腸がん検診の受診促進を図った。 ・対象者数 4,201人 受診者数 891人 受診率 21.2% ・印刷製本費 431,004円 ・通信運搬費 514,425円 ・大腸がん検診委託料 2,949,390円
4 妊婦健康診査委託・里帰り等妊婦健康診査費助成事業 (健康課)	31,501,920円	妊婦健康診査委託・里帰り等妊婦健康診査費助成において超音波検査の年齢制限を撤廃し、全妊婦に対して超音波受診券を発行した。 ・妊娠届出数 475人 ・妊婦健康診査委託 5,510件 29,992,380円 ・里帰り等妊婦健康診査費助成 326件 1,509,540円
5 不活化ポリオワクチン接種委託 (健康課)	6,226,706円	平成24年9月から不活化ポリオワクチンが定期接種として導入されたことに伴い、対象者について公費負担による接種を行った。 ・対象者数 1,708人 接種者数 1,199人 接種率 70.2% ・不活化ポリオワクチン接種委託料 6,226,706円
6 四種混合接種委託 (健康課)	1,580,742円	平成24年11月から四種混合ワクチンが定期接種として導入されたことに伴い、対象者について公費負担による接種を行った。 ・対象者数 1,708人 接種者数 267人 接種率 15.6% ・四種混合接種委託料 1,580,742円
7 地球温暖化対策設備普及事業助成金(住宅用) (環境課)	4,000,000円	地球温暖化対策を推進するため、住宅用省エネルギー設備及び新エネルギー設備を設置した市民に対して、その経費の一部を助成することにより、環境へ配慮する市民意識の向上及び二酸化炭素の排出量削減を図った。 ・助成対象設備(7設備) 太陽光発電システム、太陽熱利用システム、CO <sub>2</sub> 冷媒ヒートポンプ給湯器、潜熱回収型ガス給湯器、ガス発電給湯器、燃料電池、ペレットストーブ ・助成設備数 53設備



事業名等	事業費	内容と成果
8 自動車騒音公害面的評価事業委託  (環境課)	1,029,000 円	<p>平成 24 年度から権限委譲を受け、騒音規制法第 18 条の規定に基づき、福生市内における道路交通騒音の継続的監視として、幹線道路の自動車騒音の状況について調査を実施し、市の道路交通騒音対策の資料取得を行った。</p> <p>1 調査内容            市内の道路沿道地域について設定した自動車騒音常時監視に係る評価区間のうち、5 箇所について騒音等の調査を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 24 時間の基準点騒音調査</li> <li>・ 地域の残留騒音調査 (背後地騒音調査)</li> <li>・ 交通量、走行速度調査</li> <li>・ 評価区間内の住居戸数等の沿道状況調査</li> </ul> <p>2 調査日時            平成 24 年 6 月 4 日 (月) 正午から同月 5 日 (火) 正午まで</p>
9 次世代モビリティ活用モデル事業  (環境課)	18,922,252 円	<p>移動のためのアイテムとして、電動アシスト自転車・電気自動車を“次世代モビリティ”として貸し出すシステムを作り、化石燃料を使った自動車利用を抑制することにより温室効果ガスを削減し、環境にやさしいまちづくりを図るため、平成 23 年度に引き続き実証実験を行った。</p> <p>カーシェアリングについては、法人の会員登録の促進を進め、サイクルシェアリングについては、愛称とイメージキャラクターを設定し料金改定を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 収入金額 1,056,540 円               <ul style="list-style-type: none"> <li>カーシェアリング 863,540 円</li> <li>サイクルシェアリング 193,000 円</li> </ul> </li> <li>・ 二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 削減量 9338.1 kg               <ul style="list-style-type: none"> <li>カーシェアリング 5475.4 kg</li> <li>サイクルシェアリング 3862.7 kg</li> </ul> </li> <li>・ 光熱水費 1,118,963 円</li> <li>・ 保険料 7,914 円</li> <li>・ 次世代モビリティ活用モデル事業委託料 17,795,375 円</li> </ul>
10 外壁及び屋上防水改良事業 (保健センター)  (健康課)	48,821,961 円	<p>保健センターの外壁改修及び防水改良工事を実施した。(設計・工事)</p>

(4) 商 工 費

事業名等	事業費	内 容 と 成 果
<p>1 まちなかおもてなし事業</p> <p>(シティセールス推進課)</p>	<p>24,010,375 円</p>	<p>福生市観光案内所「まちなかおもてなしステーション くるみるふっさ」で、主に次の事業を実証実験として実施し、多種多様な福生市の魅力を発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光ガイドツアー等を 28 回実施し、毎回異なるテーマを設けて市内各スポットを巡った（参加者延べ 362 人）。</li> <li>・観光案内所において、来所者に対する観光案内、福生市及び友好交流都市（登別市及び守山市）製品の紹介、宣伝及び販売を行った。</li> <li>・JR 福生駅東口のペDESTリアンデッキに「駅前おもてなしコンシェルジュ」を開設し、出張観光案内を行った。</li> <li>・各種市内外イベントに観光案内所として参加し、福生市の魅力をアピールした。</li> <li>・「らくらくお買物代行サービス」として、市内在住の高齢者や子育て世帯、障害者等、日常の買い物が困難な方を対象とした代行サービスを実施した（会員数 64 人、337 回の利用）。</li> </ul> <p>（東京都緊急雇用創出事業を活用）</p>
<p>2 イメージキャラクター活用事業</p> <p>(シティセールス推進課)</p>	<p>6,699,000 円</p>	<p>福生七夕まつりイメージキャラクター「たっけー☆☆」を活用して、「たっけー☆☆」自体の認知度の向上並びに福生七夕まつり及び市全体のイメージアップを図るため、着ぐるみを活用した市内外のイベントへの参加、キャラクターグッズ等の作成、着ぐるみのリニューアル制作等を実施した。</p> <p>また、平成 25 年 3 月 21 日付で、「たっけー☆☆」は、福生市公式キャラクターへと就任した。（東京都緊急雇用創出事業を活用）</p>
<p>3 まちづくり振興推進事業</p> <p>(シティセールス推進課)</p>	<p>6,127,113 円</p>	<p>平成 23 年度に継続して、人口流出要因の把握、市民及び市職員を対象としたコミュニティビジネスセミナーの開催、わがまちの宝探しの実施、福生市の魅力再発見プロジェクト、商店街振興ワークショップの開催並びに活動支援及び報告書の作成を委託した。（東京都緊急雇用創出事業を活用）</p>
<p>4 定住促進パンフレット作成事業</p> <p>(シティセールス推進課)</p>	<p>2,992,500 円</p>	<p>住むまちとしての福生市の魅力を多くの他市住民等に伝え、交流人口及び定住人口の増加を図るため、パンフレットを作成し、配布先の依頼、折衝等を委託した。（東京都緊急雇用創出事業を活用）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレット A3 判 両面カラー三つ折り 10,000 部作成</li> </ul>
<p>5 消費者行政活性化事業</p> <p>(シティセールス推進課)</p>	<p>2,000,151 円</p>	<p>消費者被害防止の周知のため、啓発資料（消費者保護対策カレンダー等）を作成し、告知に努めた。</p> <p>消費者相談室にキャビネット等を設置し、資料の整理を行うことで、より円滑に消費者相談業務を実施した。</p> <p>「食の安全」をテーマに、料理研究家の土井善晴氏を講演会講師に起用することで、より多くの参加者を集め、消費者行政に興味の薄い消費者に対しても積極的に食に関する安全性及び重要性の啓発を行った。（東京都消費者行政活性化交付金を活用）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会名 「家庭の御馳走」</li> <li>日 時 平成 25 年 3 月 2 日（土）</li> <li>参 加 者 200 人</li> </ul>



## (5) 土 木 費

事 業 名 等	事 業 費	内 容 と 成 果
1 牛浜駅自由通路昇降機 保守委託 (施設課)	2,245,782 円	牛浜駅自由通路に設置したエレベーター 2 基、エスカレーター 4 基の保守委託を今年度 10 月より開始した。 ・保守委託料 2,245,782 円
2 市道幹線Ⅱ-19 号線外 1 路線改良事業 (施設課)	129,708,161 円	歩道拡幅及び舗装打替等の道路改良工事を今年度より開始した。 ・延長 694.6m 幅員 16.0m ・排水施設工、街築工、舗装工、交通安全施設工 一式 ・土地測量委託料 6,218,711 円 ・設計委託料 298,200 円 ・監理委託料 1,326,150 円 ・工事請負費 121,865,100 円
3 市道幹線Ⅱ-20 号線改 良事業 (施設課)	92,940,300 円	歩道拡幅及び舗装打替等の道路改良工事を実施した。 ・延長 585.9m 幅員 16.0m ・排水施設工、街築工、舗装工、交通安全施設工 一式 LED 灯 19 基新設 ・監理委託料 2,109,900 円 ・工事請負費 90,830,400 円
4 市道第 4 号線道路改良 工事 (施設課)	3,937,500 円	経年劣化による舗装及び側溝の改修工事を実施した。 ・延長 55.0m 幅員 4.0m 舗装打替 182.0 m <sup>2</sup> ・特殊 L 型側溝据替工 51.4m ・工事請負費 3,937,500 円
5 市道第 1083 号線改良 工事 (施設課)	8,505,000 円	経年劣化による舗装及び側溝の改修工事を実施した。 ・延長 107.4m 幅員 6.0m 舗装面積 696.1 m <sup>2</sup> ・L 型側溝工 112.9m 集水ます設置工 10 箇所 ・区画線、カラーすべり止め舗装工 一式 ・工事請負費 8,505,000 円
6 市道第 1160 号線道路 改良事業(宿橋通り) (施設課)	106,881,317 円	電線類を地中化し、景観に配慮した安心して安全な歩車共存の道路として整備するため、今年度より工事を開始した。 ・延長 303.9m 幅員 6.5m ・スリット側溝設置 L=520.2m ・アスファルト舗装工 車道部 966.7 m <sup>2</sup> 歩道部 800.8 m <sup>2</sup> ・電線共同溝設置工 一式 ・設計委託料 3,648,506 円 ・監理委託料 903,000 円 ・工事委託料 4,137,210 円 ・工事請負費 79,179,450 円 ・地下埋設物等移設補償料 19,013,151 円
7 牛浜駅自由通路整備事 業 (施設課)	465,317,356 円	牛浜駅自由通路の整備を平成 23 年度に引き続き実施した。 ・土地鑑定委託料 430,500 円 ・工事委託料 442,569,806 円 ・観光案内版設置委託料 1,914,150 円 ・仮設トイレ借上料 138,950 円 ・工事請負費 20,263,950 円
8 福生市空き家実態調査 委託 (まちづくり計画課)	4,200,000 円	空き家対策の施策作りや平成 25 年度に行う住宅マスタープラン改定の基礎資料として活用することにより、定住化促進に寄与するため、市内の空き家の実態調査を行い、現況を把握するとともに、所有者へのアンケート調査を行った。 ・空き家実態調査業務委託料 4,200,000 円

事業名等	事業費	内 容 と 成 果
9 緑の基本計画策定支援 委託  (まちづくり計画課)	3,990,000円	今後10年程度の新たな緑の基本計画を平成25年度に策定するに当たり、平成10年度に策定した現行の緑の基本計画の分析、評価及び見直しを行った。 また、計画の充実を図るため、市民参加を重視しながら、必要な調査及び策定業務の委託を行った。  ・緑の基本計画策定支援委託料 3,990,000円
10 特定緊急輸送道路沿道 建築物耐震診断助成事 業  (まちづくり計画課)	0円	特定緊急輸送道路3路線(国道16号線、五日市街道、新奥多摩街道)の沿道の建物のうち、道路幅員の2分の1以上の高さで、昭和56年以前の建築物に対して診断費用の助成を行う事業を開始した。  ・助成期間 平成24年度及び平成25年度 ・耐震診断対象建築物 12棟 ・申請件数 0件
11 特定緊急輸送道路沿道 建築物耐震改修助成事 業  (まちづくり計画課)	0円	特定緊急輸送道路沿道建築物耐震診断を実施した建築物で、診断結果に耐震性がない建築物に対して補強設計及び耐震改修費用の助成を行う事業を開始した。  ・助成期間 平成24年度から平成27年度まで ・申請件数 0件
12 公園・緑地、道路等施 設の総点検事業  (施設課)	3,893,320円	市内施設の適正な維持管理を行うために、施設(公園、緑地、道路等)の点検、清掃等の業務について、嘱託職員2名体制により実施した。(東京都緊急雇用創出事業を活用)  ・嘱託職員報酬 3,688,320円 ・消耗品購入 116,391円 ・燃料費 88,609円
13 ひふみ公園吸込槽設置 事業  (施設課)	2,289,000円	降雨時にひふみ公園から公園外に流出する雨水の流出を防ぐ目的から吸込槽を設置した。  ・吸込槽設置工φ1200×4000 1箇所設置 ・ひふみ公園吸込槽設置工事 2,289,000円
14 武蔵野台第三児童遊園 管理柵設置事業  (施設課)	960,750円	武蔵野台第三児童遊園の周囲には囲いが無く、公園利用者のボール等が民家に入るおそれがあるため、公園周囲に生垣による管理柵を設置した。  ・新植ツゲ 120本、唐竹2段布掛け支柱 30m ・武蔵野台第三児童遊園生垣整備工事 960,750円
15 福東緑地整備事業           (施設課)	36,311,500円	福東地区の国有地を無償で借用し、市民の憩いの場、子どもたちの遊び場として、生活環境の向上を目的に緑地整備事業を開始した。  ・全体事業費 125,874,000円 平成24年度分 36,311,500円 平成25年度分 89,562,500円 ・福東緑地整備工事調査設計委託(契約額) 平成24年度分 9,712,500円 ・福東緑地整備工事(契約額) 113,400,000円 国庫債務負担行為 平成24年度分 26,000,000円 平成25年度分 87,400,000円 ・福東緑地整備工事監理委託(契約額) 2,761,500円 国庫債務負担行為 平成24年度分 599,000円 平成25年度分 2,162,500円

## (6) 消 防 費

事 業 名 等	事 業 費	内 容 と 成 果
1 消防団制服等更新事業 (安全安心まちづくり課)	2,732,730 円	消防団員の夏用活動服の更新を行い、活動時の安全確保を図った。
2 消防団防火衣更新事業 (安全安心まちづくり課)	4,213,597 円	消防団員の震災時活動を想定し、全団員に配備されるよう防火衣を追加購入した。
3 消防ポンプ自動車更新事業 (安全安心まちづくり課)	19,461,853 円	老朽化及び排出ガス規制により使用できなくなる消防ポンプ自動車を、新たな自動車運転免許制度に対応可能な小型車両に更新した。 ・車両形式 いすゞ CD-I 型 ・配車分団 第二分団
4 消防団車庫改修事業  (安全安心まちづくり課)	5,028,673 円	災害時の活動拠点となる消防団車庫、火の見やぐら等の塗装工事及び屋上防水工事並びに平成 25 年度の工事実施に向けた実施設計を行った。 ・実施分団 第二分団 (平成 25 年度工事前実施設計) 第三分団 (実施設計及び工事) ・消耗品費等 14,923 円 ・設計委託料 1,134,000 円 ・監理委託料 430,500 円 ・工事請負費 3,449,250 円
5 消防団第四分団車庫敷地拡幅工事 (安全安心まちづくり課)	3,596,250 円	消防団活動時に支障を来していた第四分団車庫敷地の拡幅工事等改良を行い、整備を図った。 ・工事請負費 3,596,250 円
6 要援護者システムの導入  (安全安心まちづくり課)	4,733,600 円	災害が発生した場合、情報を共有し、効率的に安否確認を行うため、要援護者システムの導入を行い、安全安心まちづくり課、社会福祉課、介護福祉課、障害福祉課及び当直室に専用端末を配備した。 ・パートタイマー賃金 302,600 円 ・要援護者システム導入委託料 1,522,500 円 ・電算機等購入費 2,908,500 円
7 福生市地域防災計画修正及び福生市事業継続計画(震災編)策定事業  (安全安心まちづくり課)	4,389,000 円	過去の災害から得られた防災対策への知見等を反映し、東京都地域防災計画との整合性を図るため、地域防災計画の修正を行い、計画(素案)を作成した。 また、被災からの復旧・復興を迅速に実現し、市民の生命、財産、生活及び社会経済活動への支障を軽減するため、震災時の福生市事業継続計画(BCP)策定における優先業務の選定、必要資源の分析と対策の検討を行った。 ・地域防災計画改定委託料 1,945,125 円 ・事業継続計画策定支援委託料 2,443,875 円

## (7) 教育費

事業名等	事業費	内容と成果
1 教育広報事業  (庶務課)	1,441,772円	教育広報を市民が興味を持って閲読できるように、掲載内容の精査及び紙面の工夫を行い、平成25年1月4日発行の教育広報をカラー印刷とし、全ての教育広報に、視覚障害者のためにSPコードを付けた。 ・発行日 平成24年4月15日、7月15日、10月15日、平成25年1月4日 ・発行部数 28,800部(1回の印刷部数) ・規格 タブロイド判、2色刷り、4ページ(平成25年1月4日発行号のみ、1面及び4面をカラー化) ・印刷製本費 679,792円 ・教育広報配布委託料 761,980円
2 学校適応支援室事業 (指導室)	2,902,100円	学校適応支援室に通う児童・生徒の増加に伴い、指導補助員を増員し、適切な指導をした。指導補助員を平成24年度から3名とした(平成23年度まで2名)。
3 学校と家庭の連携推進事業 (指導室)	3,618,500円	いじめ、不登校、暴力行為等生活指導上の課題に対応するため、小・中学校全校に「家庭と子どもの支援員」及び「スーパーバイザー」を配置し、課題に対して地域全体で取り組む教育体制及び地域や学校の実態に即した効果的な取組を図った。
4 理数教育推進事業 (指導室)	2,066,665円	中学校全学年の理科授業における体験的な学習を充実させるため、観察・実験等の支援を行う「理科支援員」を配置し、理数教育の充実を図った。
5 食育研究指定地区事業 (指導室)	457,365円	東京都教育委員会より食育研究指定地区に配置された「栄養教諭」を中核として食育を推進するとともに、栄養教諭を配置した拠点校である福生第四小学校の校長を委員長とし、栄養教諭及び学識経験者、学校関係者、地域代表、農業関係者等からなる検討委員会による研究を進めた。
6 児童・生徒の健全育成に関わる研究事業 (指導室)	1,803,500円	小・中学校の児童・生徒の不登校、いじめ、暴力行為等の問題行動に対し、保護者と連携を図りながら、学校における組織的な対応を充実させ、健全育成上の課題改善に向けた支援を行う「相談員」を福生第一小学校と福生第四小学校に配置し、各学校の課題解決を図った。
7 学校図書館電算化事業 (指導室)	7,245,000円	平成24年度及び平成25年度の2か年で、学校図書館を電算化し、蔵書管理の適正化、効率化を促進する。平成24年度は、福生第三小学校、福生第七小学校、福生第一中学校の作業を行った。
8 小中学校体育館緞帳付替事業 (指導室)	808,500円	経年劣化・破損の激しかった福生第五小学校の緞帳の付替えを行った。
9 福生第一小学校プール改良事業  (庶務課・施設課)	9,397,500円	プール本体の老朽化による底板の歪みを解消し、安全性の確保を図るとともに、腐食等を原因とする漏水防止を図るため、プール底板改良及び塗装工事を実施し、授業の効率化と安全対策を図った。 ・ステンレス製プール底板改良 排水枘取付1箇所 塗装381㎡ ・工事請負費 9,397,500円
10 中学校体育用武道用防具整備事業 (指導室)	1,080,000円	中学校の新学習指導要領実施による武道の必修化に伴い、全学年において体育の授業で全武道が必修となるため、剣道防具を借上げにより整備した。

事業名等	事業費	内容と成果
11 中学校体育館床改良事業  (庶務課・施設課)	3,906,000円	バスケットボールの国際競技規則の変更により、中学校3校のバスケットボールコートの制限区域ラインの書換えを行った。また、福生第二中学校の床について、老朽化によるコートラインの消失及び滑りやすい状況で、授業や学校開放に支障を来していたため、改良工事を実施し、授業の効率化と安全対策を図った。 ・バスケットコート制限区域書換え (福生第一中学校、福生第三中学校) ・既存床研磨、塗装 931㎡、ライン一式 (福生第二中学校) ・工事請負費 3,906,000円
12 福生市立小・中学校教育活動発表会  (指導室)	20,000円	教育委員会の施策を周知し、それに基づく各学校の教育活動や中学校区での小・中連携活動の様子等を広く紹介するために、市民を対象とする発表会を行った。
13 第二給食センター手洗施設改良工事  (学校給食課)	805,350円	パートタイマー職員が増加したことにより、手洗施設が狭く、また蛇口の設置数も少なかったため、3箇所から6箇所に増設し、衛生管理の充実及び食中毒の防止を図った。
14 展示ケースガラス飛散防止フィルム貼付委託  (生涯学習推進課)	242,550円	震災時におけるガラス飛散対策のため、展示室内の飛散防止フィルム未貼付けのガラスケース5台に対し、特殊フィルムの貼付けを行った。
15 郷土資料室展示ケース購入事業  (生涯学習推進課)	264,660円	郷土資料室資料展示用ガラスケース1台を購入し、展示スペース狭小に対する改善を行った。
16 郷土資料室展示用ウォールケース内LEDスポット照明整備事業  (生涯学習推進課)	277,200円	展示室ウォールケース内のスポット照明について、従来の白熱球からLEDに交換し省電力化を図るとともに、高温化や紫外線の影響を減少させることにより展示資料の劣化防止を図った。
17 市民会館備品購入事業  (公民館)	246,288円	市民会館大ホールのステージ階段が老朽化したため、傾斜度を緩和したステージ階段(2台)を購入し、安全性の確保を図った。 ・備品購入費 246,288円
18 公民館本館紙折り機購入事業  (公民館)	223,650円	紙折り機が経年劣化により不具合が生じ、作業に支障が生じたため、買換えを行い、利用者の利便性の向上を図った。 ・備品購入費 223,650円
19 公民館白梅分館陶芸窯購入事業  (公民館)	681,450円	白梅分館の陶芸窯が老朽化したため、買換えを行った。 ・備品購入費 681,450円
20 第30回市民音楽祭  (公民館)	973,775円	第30回記念として、ポスター、当日の演出等を充実して実施した。 ・講師謝礼 553,000円 ・消耗品費 91,350円 ・印刷製本費 61,425円 ・手数料 10,000円 ・会場借上料 258,000円

事業名等	事業費	内容と成果
21 福生市地域資料電子化委託  (図書館)	5,565,000 円	平成 23 年度に引き続き、福生市の地域資料（議会録、ふっさっ子等）99 タイトル約 14 万ページのデジタル化を実施、一部を図書館ホームページで公開し、広く情報発信を図った。（東京都緊急雇用創出事業を活用） ・福生市地域資料電子化委託料 5,565,000 円
22 図書館電算システム更新委託  (図書館)	7,829,209 円	図書館電算システムの更新を行い、クライアントサーバー方式からクラウド方式へ変更した。 また、ホームページを全面リニューアルし、新たにビジネス・しごと支援及び福生デジタルのページを新設した。 ・システム更新委託料 7,829,209 円
23 資料整備委託  (図書館)	7,318,500 円	ICタグ整備の一環として、CD・雑誌にICタグの貼付け及び分類ラベル等の新調作業を実施した。（東京都緊急雇用創出事業を活用） ・資料整備委託料 7,318,500 円
24 中央図書館外壁等改良事業  (図書館)	48,174,000 円	平成 23 年度的设计委託に基づき、外壁改良並びに非常階段手すり及び防火シャッターの改修を実施した。 ・監理委託料 1,239,000 円 ・工事請負費 46,935,000 円
25 わかぎり会館改良事業  (図書館)	170,323,287 円	築 36 年経過した「わかぎり会館」の内外装及び空調設備の改修、バリアフリー化並びに地球温暖化対策に配慮した施設改良を実施した。 ・職員旅費 1,240 円 ・消耗品費 9,647 円 ・設計委託料 12,390,000 円 ・監理委託料 6,903,750 円 ・備品等移転委託料 1,026,900 円 ・有料道路使用料 15,000 円 ・工事請負費 149,976,750 円
26 さくら会館揚水ポンプ改良工事  (公民館)	939,750 円	さくら会館地下室の揚水ポンプが老朽化したため、揚水ポンプを交換する改良工事を実施した。 ・工事請負費 939,750 円
27 さくら会館外壁改良事業  (公民館)	1,144,500 円	平成 25 年度に実施するさくら会館外壁改良工事のための設計委託を行った。 ・設計委託料 1,144,500 円
28 わかたけ会館、わかぎり会館印刷機借上  (図書館)	145,530 円	わかたけ会館及びわかぎり会館の印刷機を新規に借り上げ、会館利用者の利便性の向上を図った。 ・借上台数 2 台 ・印刷機借上料 145,530 円 （平成 24 年 7 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで） ※借上料（60 か月） 970,200 円 ※借上期間 平成 24 年 7 月 1 日から平成 29 年 6 月 30 日まで



事業名等	事業費	内容と成果
29 ジュニアスポーツ体験・育成事業委託  (スポーツ推進課)	2,093,700円	<p>体育施設を活用し、就学前児童及び小学生を対象に様々なスポーツの体験を通じ、基礎運動能力の向上及びスポーツを好きになる子どもの育成を目的にNPO法人福生市体育協会に委託し、教室を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キッズ体操 3教室×30回 全90回 延べ参加者数917人</li> <li>・夏休み・春休み子どもスポーツ塾 全5回 延べ参加者数128人</li> </ul>
30 生活習慣病予防対策事業委託  (スポーツ推進課)	1,124,550円	<p>ウォーキング、筋力トレーニング、ヨガ等様々な運動を通じ、糖尿病及びメタボリックシンドロームの生活習慣病予防を目的にNPO法人福生市体育協会に委託し、教室を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年代別健康体力づくり教室 3教室 全64回 延べ参加者数564人</li> </ul>
31 市営プール改良事業  (スポーツ推進課)	4,714,500円	<p>市営プールの幼児用プールの遊戯用つき山とプール底が破損したため改良工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工期 平成24年4月19日から6月25日まで</li> <li>・工事請負費 4,714,500円</li> </ul>
32 屋外体育施設備品購入事業  (スポーツ推進課)	1,308,237円	<p>屋外体育施設に管理運営上必要となる備品を配備するとともに、老朽化した備品の更新を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的ラインカー 1台 107,100円</li> <li>・可動式フェンス 40枚 1,155,000円</li> <li>・コートブラシほか 46,137円</li> </ul>
33 福生野球場管理棟等改良事業  (スポーツ推進課)	11,663,400円	<p>福生野球場の管理棟、駐輪場、排水溝及び手すりは、老朽化、破損等の部分があったため、改良工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工期 平成24年10月19日から平成25年2月28日まで</li> <li>・設計委託料 714,000円</li> <li>・監理委託料 682,500円</li> <li>・工事請負費 10,266,900円</li> </ul>
34 福生野球場スコアボード判定表示改修工事  (スポーツ推進課)	3,570,000円	<p>福生野球場に整備したスコアボードのストライク・ボール・アウトの表示を、ボール・ストライク・アウトの表示に改修した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工期 平成25年1月30日から3月29日まで</li> <li>・工事請負費 3,570,000円</li> </ul>
35 中央体育館運営事業  (スポーツ推進課)	28,784,000円	<p>中央体育館の運営の一部(受付業務、館内巡視、スポーツ教室等)をNPO法人福生市体育協会に委託した。また、平成24年度よりトレーニング室の利用を向上させるため、トレーニング室運営業務を開始した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーニング室利用者 12,964人(前年度より1,023人増)</li> </ul>
36 体育館備品購入事業  (スポーツ推進課)	486,570円	<p>中央体育館に管理運営上必要となる備品を配備するとともに、老朽化した備品の更新を行った。</p> <p>今年度は、老朽化した卓球台を6台買い換えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卓球台 6台 376,740円</li> <li>・バレーボールネットほか 109,830円</li> </ul>

## 2 国民健康保険特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 一般被保険者療養給付費  (保険年金課)	3,539,017,565円	一般被保険者の疾病及び負傷に対して療養の費用を給付した。 ・一般被保険者一人当たり費用額 262,914円 ・一般被保険者一人当たり保険者負担額 191,288円 ・一般被保険者一人当たり年間受診件数 13.94件 ・1件当たり費用額 18,861円
2 退職被保険者等療養給付費  (保険年金課)	292,341,087円	退職被保険者等の疾病及び負傷に対して療養の費用を給付した。 ・退職被保険者等一人当たり費用額 345,166円 ・退職被保険者等一人当たり保険者負担額 241,405円 ・退職被保険者等一人当たり年間受診件数 16.44件 ・1件当たり費用額 21,001円
3 一般被保険者療養費  (保険年金課)	52,165,870円	療養の給付を行うことが困難であると認めるとき若しくは緊急その他やむをえない理由によると認めるとき又は柔道整復師による施術を受けたときは、療養の費用を一般被保険者に支給した。 ・一般被保険者一人当たり費用額 3,746円 ・一般被保険者一人当たり保険者負担額 2,820円 ・支給件数 7,140件 ・1件当たり保険者負担額 7,306円
4 退職被保険者等療養費  (保険年金課)	3,164,841円	療養の給付を行うことが困難であると認めるとき若しくは緊急その他やむをえない理由によると認めるとき又は柔道整復師による施術を受けたときは、療養の費用を退職被保険者等に支給した。 ・退職被保険者等一人当たり費用額 3,734円 ・退職被保険者等一人当たり保険者負担額 2,613円 ・支給件数 502件 ・1件当たり保険者負担額 6,304円
5 一般被保険者高額療養費  (保険年金課)	420,607,624円	一般被保険者が、同じ月内に同じ病院、薬局等で支払うべき一部負担金(食事療養に係る標準負担額を除く。)が80,100円(上位所得者については150,000円、低所得者については35,400円)を超えた場合に支給した。 ・支給件数 6,517件 ・1件当たり保険者負担額 64,540円
6 退職被保険者等高額療養費  (保険年金課)	43,364,743円	退職被保険者等が、同じ月内に同じ病院、薬局等で支払うべき一部負担金(食事療養に係る標準負担額を除く。)が80,100円(上位所得者については150,000円、低所得者については35,400円)を超えた場合に支給した。 ・支給件数 427件 ・1件当たり保険者負担額 101,557円
7 出産育児一時金  (保険年金課)	50,107,857円	被保険者が出産したとき、当該世帯主に対して出産育児一時金を支給した。 ・支給件数 120件 ・1件当たり支給額 390,000円 9件 420,000円 111件(産科医療補償制度に加入している場合)
8 葬祭費  (保険年金課)	6,000,000円	被保険者が死亡したとき、その葬祭を行ったものに対して葬祭費を支給した。 ・支給件数 120件 ・1件当たり支給額 50,000円

事業名等	事業費	内容と成果
9 結核・精神医療給付金  (保険年金課)	4,850,507円	被保険者が「結核予防法」及び「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」に基づく給付を受けた場合に自己負担額(高額療養費を含む。)を支給した。 ・支給件数 4,166件 ・1件当たり支給額 1,164円
10 後期高齢者支援金等  (保険年金課)	981,953,949円	後期高齢者医療制度の被保険者の健康の保持と適切な医療の確保を図るため、社会保険診療報酬支払基金に対し、支援金及び事務費を拠出した。 ・後期高齢者支援金等 981,880,693円 ・事務費拠出金 73,256円
11 介護給付費納付金  (保険年金課)	405,004,394円	介護保険法による介護給付費に充てるため、国保加入者のうち40歳以上64歳までの第2号被保険者数に応じ、社会保険診療報酬支払基金に介護納付金を納めた。 56,366円×7,247人-3,480,008円(平成22年度精算分)
12 共同事業拠出金  (保険年金課)	736,399,975円	国民健康保険の財政の安定化を図るため、保険財政共同安定化事業及び高額医療費共同事業に要する費用を国民健康保険団体連合会に納めた。 ・高額医療費共同事業拠出金 157,327,330円 ・保険財政共同安定化事業拠出金 579,071,201円 ・その他共同事業事務費拠出金 1,444円
13 高額療養費資金貸付  (保険年金課)	17,973,464円	被保険者の一部負担金の軽減を図るため、高額療養費に相当する資金を貸し付け、被保険者の療養の給付と生活の安定を図った。 ・貸付件数 103件 ・貸付金額 17,973,464円 ・費用額 79,258,110円
14 保養施設宿泊費補助  (保険年金課)	27,000円	被保険者の健康の保持、増進を図るため、市長が指定する保養施設を利用した被保険者の宿泊費の補助を行った。 ・補助対象者 9人 ・1件当たり補助金額 大人3,000円×9人
15 特定健康診査・特定保健指導事業  (健康課)	52,224,721円	平成20年度から医療保険者に義務付けられた特定健康診査・特定保健指導を実施した。 ・特定健康診査 対象者 11,370人 受診者 5,195人 受診率 45.7% ・特定保健指導 対象者 644人 積極的支援参加者 29人 動機づけ支援参加者 91人 実施率 18.6%
16 ジェネリック医薬品 (後発医薬品)差額 通知事業  (保険年金課)	109,488円	医療行為等を受けた被保険者にジェネリック医薬品と先発医薬品との差額を通知することにより、薬価の節減効果を周知し、ジェネリック医薬品の使用を広く普及させ、療養給付費等の歳出削減につなげた。 ・通知書送付(2回) 2,363人 ・後発医薬品利用率 29.4% ・削減効果額 890,732円

### 3 介護保険特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 介護保険システム使用料 (介護福祉課)	3,765,720 円	介護保険システムを使用することにより、介護保険事務の効率化を図った。
2 介護保険料収納代行業務委託(介護保険分) (収納課)	337,240 円	平成 24 年度からコンビニエンスストアでも介護保険料を収納できるよう、収納代行業務を委託し、納付環境の整備・充実を図った。
3 認定審査会委員報酬 (介護福祉課)	5,904,000 円	任命された認定審査会委員により、要介護状態区分判定を行った。
4 認定調査嘱託員報酬 (介護福祉課)	5,994,000 円	要介護状態区分判定のため、要介護認定調査嘱託員による訪問調査を行った。
5 主治医意見書作成料 (介護福祉課)	7,883,400 円	要介護状態区分判定のため、主治医に意見書の作成を依頼した。
6 要介護認定調査委託料 (介護福祉課)	58,800 円	遠隔地の認定調査については、当該地の指定居宅介護支援事業者に訪問調査を委託した。
7 介護サービス等給付費 (介護福祉課)	2,848,889,647 円	要介護認定(要介護度 1 から 5)を受けた被保険者で、在宅又は施設入所者に対して、介護サービスを給付した。
8 介護予防サービス等給付費 (介護福祉課)	72,795,415 円	要支援認定(要支援度 1・2)を受けた被保険者に対して、介護予防サービスを給付した。
9 審査支払手数料 (介護福祉課)	3,456,556 円	介護給付費及び公費負担等に関する審査並びに支払事務を、東京都国民健康保険団体連合会に委託した。
10 高額介護サービス費 (介護福祉課)	65,866,154 円	要介護認定を受けて介護サービスを利用している被保険者に対して、サービスの利用者負担の合計が利用者負担上限額を超えた分について、高額介護サービス費を支給した。
11 高額介護予防サービス費 (介護福祉課)	6,573 円	要支援認定を受けて介護予防サービスを利用している被保険者に対して、サービスの利用者負担の合計が利用者負担上限額を超えた分について、高額介護予防サービス費を支給した。
12 高額医療合算介護サービス費 (介護福祉課)	8,788,710 円	介護保険と医療保険両方の利用者負担の合計が利用者負担上限額を超えた分について、高額医療合算介護サービス費を支給した。
13 特定入所者介護サービス等費 (介護福祉課)	135,489,160 円	低所得者の要介護者が介護保険施設サービスや短期入所サービスを利用した場合、食費及び居住費について、補足給付として特定入所者介護サービス等費を支給した。

事業名等	事業費	内容と成果
14 筋力向上トレーニング事業  (介護福祉課)	12,253,360円	<p>介護保険要介護認定の要介護又は要支援に該当しない65歳以上の高齢者で、医師から運動制限を受けていない方を対象に実施した。 一次予防事業対象者は広報等で案内し、二次予防事業対象者は、基本チェックリスト等を基に、対象者を限定して実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一次予防事業 4,198,110円 筋力向上トレーニング教室 延べ参加者 74人 筋力向上トレーニング教室(接骨師会) 延べ参加者 17人 高齢者いきいき体操フォローアップ事業(体育協会) 延べ参加者 79人</li> <li>・二次予防事業 8,055,250円 筋力向上トレーニング教室 延べ参加者 61人 高齢者筋力向上フォローアップ事業(接骨師会) 延べ参加者 107人</li> </ul>
15 介護サポーター事業  (介護福祉課)	163,185円	<p>介護保険要介護認定の要介護又は要支援に該当しない65歳以上の高齢者を対象に、介護サポーターとして登録を募集した。 登録者は、市内の指定された介護施設で介護サポーター活動(ボランティア活動)に参加することで1時間に対し1ポイント付与され(1日最大2ポイントまで)、ポイント数に応じて最大5,000円の交付金の交付申請をすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度登録者数 12名</li> </ul>
16 地域包括支援センターシステム事業  (介護福祉課)	2,110,715円	<p>平成24年4月1日に改正された介護保険法に適応した地域包括支援センターに関する業務全般について、厚生労働省から示された内容、福生市の事業状況等に対応したシステムへ更新した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターシステムプログラム使用 契約期間 平成24年4月1日から平成27年3月31日まで 料金総額(36か月) 5,114,340円</li> <li>・地域包括支援センターシステム電算機借上(継続使用) 契約期間 平成21年4月1日から平成26年3月31日まで 料金総額(60か月) 1,568,700円</li> <li>・地域包括支援センターシステム保守委託 契約期間 平成24年4月1日から平成25年3月31日まで 料金総額 315,000円</li> </ul> <p>(事業費として、一般会計222,805円を別に計上)</p>

#### 4 後期高齢者医療特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 後期高齢者医療システム更新委託 (保険年金課)	13,125,000 円	平成22年11月に導入した住民情報システムに連携した後期高齢者医療システムへ更新を行い、事務処理の効率化を図った。 ・システム更新委託料（データ取り出し及び消去分） 7,980,000 円 ・システム更新委託料（データ取り込み分） 5,145,000 円
2 広域連合納付金 (保険年金課)	875,023,532 円	後期高齢者医療の事務は、都内区市町村で構成する東京都後期高齢者医療広域連合が、保険料の徴収事務及び健康増進事業以外の事業を執行しており、その事業に必要な負担金を納めた。 ・療給付費負担金 333,873,131 円 ・保険料等負担金 406,777,100 円 ・保険基盤安定負担金 71,125,593 円 ・事務費負担金 18,700,100 円 ・保険料軽減措置負担金 44,547,608 円
3 保健事業 (保険年金課)	23,748,359 円	後期高齢者の健康増進を図ることを目的に、健康診査や近隣の温泉施設の利用助成を行った。 ・健康診査費 23,254,799 円 ・健康増進費 493,560 円
4 葬祭費支給 (保険年金課)	16,950,000 円	被保険者が死亡したとき、その葬祭を行ったものに対して葬祭費を支給した。 ・支給件数 339 件 ・1件当たり支給額 50,000 円



## 5 下水道事業会計

事業名等	事業費	内 容 と 成 果
1 雨水幹線整備事業 (立川第2排水区雨水 幹線整備) (施設課)	157,166,589 円	熊川福東地区の雨水処理が不十分であり、冠水箇所があることから、当該地区を3工区に分け、平成24年度から債務負担行為にて雨水管整備工事を実施した。 ・ 監理委託料 7,499,292 円 ・ 工事請負費 149,667,297 円
2 雨水処理設備整備事業 (管渠新設改良事業) (施設課)	29,946,207 円	市内の冠水が見られる箇所について、雨水管等の布設の設計及び工事を実施した。 ・ 本町24番地先 設計委託料 2,205,000 円 工事請負費 2,263,264 円 ・ 福生1211番地先 設計委託料 1,680,000 円 工事請負費 8,487,150 円 ・ 福生915番地先 設計委託料 4,147,500 円 工事請負費 11,163,293 円
3 市道1160号線(宿橋通 り) 取付管布設替工事 事業 (施設課)	3,213,000 円	市道1160号線について、景観に配慮した歩車共存の道路として整備することに伴い、下水道取付管の布設替を行った。 ・ 設計委託料 273,000 円 ・ 工事請負費 2,940,000 円
4 下水道台帳電子化事業 (下水道長寿命化計画 策定事業) (施設課)	19,939,500 円	下水道管渠の長寿命化計画策定に向け、プロポーザル方式で業者を決定し、下水道台帳のデータ化及び下水道資産台帳の電子化を実施した。 ・ 下水道管理システムデータ入力委託料 19,939,500 円
5 市道幹線I-1号線下 水道管切回し(志茂立 体) 事業 (施設課)	28,112,175 円	東京都施工の多摩橋通り(都市計画道路3・4・2号線) 拡幅工事の先行工事として、汚水管及び雨水管の工事を実施した。 ・ 設計委託料(変更) 94,500 円 ・ 工事請負費 28,017,675 円
6 汚水管新設工事 (施設課)	2,710,050 円	未水洗家屋の下水道接続及び下水機能整備のため、下水道管渠(汚水)を新設した。 ・ 設計委託料 262,500 円 ・ 工事請負費 2,447,550 円

